

置換 ESA で ESA 設定をロードしか、または移行する方法

目次

[はじめに](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[置換 ESA で ESA 設定をロードする方法](#)

[設定の保存](#)

[設定をロードして下さい](#)

[置換 ESA の ESA 設定を移行する方法](#)

[関連情報](#)

概要

この資料に置換 E メール セキュリティ アプライアンス (ESA) に設定をロードする方法をおよび設定を移行する方法を記述されています。

前提条件

要件

Cisco は古い ESA および新しいのまたは置換両方 ESA の AsyncOS バージョンおよび修正同じであることを推奨します。たとえば、10.0.1-087。

CLI からの機器のバージョン情報を確認するために、`version` コマンドを入力して下さい。GUI で、> **システム状態** 『Monitor』を選択して下さい。

使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報はすべての ESA ハードウェアモデルおよびバーチャル アプライアンスに基づいています。説明されるプロセスはまた Cisco セキュリティ管理 アプライアンス (SMA) の方に適用するかもしれません。

本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 (デフォルト) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

置換 ESA で ESA 設定をロードする方法

ヒント : コンフィギュレーション ファイルを保存し、ロードし、管理する方法の完全な詳

細については [ESA ユーザガイド](#) の [コンフィギュレーション ファイル セクション](#) を管理することを参照して下さい。

注: ESA の IP アドレスかホスト名を変更する必要はないし現在のユニットを交換することを使用すれば場合 5 および 6 ステップを完了する必要はありません。新しいですか置換 ESA で設定をロードし、コンフィギュレーション変更を保存したら、新しいですか置換 ESA は既存の IP アドレスおよびホスト名を用いるネットワークでライブであることに留意して下さい。古い ESA はネットワークから取除かれるか、または新しいですか置換 ESA のコンフィギュレーション変更の託前に、オフにする必要があります。

設定の保存

1. システム 管理 > [コンフィギュレーション ファイル](#) を選択して下さい。
2. 現在のコンフィギュレーション セクション内の現在のコンフィギュレーションを、ダウンロードする前に: (AsyncOS 11.1.x かより新しい) [コンフィギュレーション ファイル オプションの暗号化パスフレーズ](#) を選択して下さい。 (AsyncOS 11.0.x およびより古い) コンフィギュレーション ファイルの明白なパスフレーズ、かコンフィギュレーション ファイル オプションの暗号化パスフレーズを選択して下さい。注: AsyncOS のより古いバージョンはコンフィギュレーション ファイルとしてパスワード明白に参照するかもしれません。注: 覆われたパスワードでコンフィギュレーション ファイルはロード設定ステップと使用することができません。
3. 表示するためにローカル コンピュータが **SAVE** オプション・ボタンに **ダウンロード ファイル** をクリックして下さい。また、またオプションにメールで送信される設定があるために **メール ファイル** は選択できます。
4. [Submit] をクリックします。これはローカル コンピュータに自動的に XML 形式のアプリケーション設定をダウンロードします。既知 位置かデスクトップにファイルを保存するようにローカル コンピュータおよびブラウザに基づいて、して下さい。
5. ローカル エディタ/アプリケーションによって、XML ファイルを編集して下さい。 **Network Configuration** セクションでは、コンフィギュレーション ファイルからイーサネットおよび Port エントリを取除いて下さい。イーサネット エントリは `</ethernet_settings>` の `<ethernet_settings>` および端から開始し、Port エントリは `</ports>` の `<ports>` および端から開始します。
6. 設定をロードする前に XML ファイルをローカルで保存して下さい。

設定をロードして下さい

1. 新しいですか置換 ESA で、システム 管理 > [コンフィギュレーション ファイル](#) を選択して下さい。
2. ロード設定セクションで、**ロードをローカル コンピュータ無線 buttonand からのコンフィギュレーション ファイル** をクリックしそして『Browse』 をクリックして下さい。
3. 前の手順から保存した見つけ、『Open』 をクリックして下さいファイルを。
4. 『Load』 をクリックして下さい。
5. 示す設定をロードするポップアップ通知が永久削除にします現在のコンフィギュレーション 設定すべてを表示されます。新しいものをロードする前に設定を保存する必要があります。
6. 続行するために『Continue』 をクリックして下さい。
7. 成功見るはずです—コンフィギュレーション ファイルはロードされました。変更は託すま

で実施されません。変更を保存する前にネットワーク設定を検討して下さい。コンフィギュレーション ファイル画面の上のメッセージ。

8. 右上隅から、**保存します変更**をクリックして下さい。

9. 変更のためのコメントで入力し、**保存します変更**をクリックして下さい。

設定は新しいアプライアンスで今ロードされます。『Continue』をクリックした後コンフィギュレーション ファイル画面のエラーを受け取ったら、次のセクションを参照して下さい。正常に新しいですか置換 ESA に設定をロードするために XML ファイルに編集する手動を作る必要があるかもしれませんことは可能性のあるです。

置換 ESA の ESA 設定を移行する方法

ESA から他へ設定を移行することは可能性のあるですまたはハードウェアからバーチャル アプライアンスに設定を移行して下さい。先に資料で示されるように、ESA は両方ともアプライアンスのそれぞれでロードされる AsyncOS 同じ修正がなければなりません。

設定値の違いが変わるかもしれないし、多くのシナリオが実行される場合があるのでこの資料内の可能性すべてをカバーすることはできません。

例：

- より大きい機器（例、X1070）からより小さいアプライアンス（例、C680）にダウングレード、検疫サイズは調整する必要があります。
- より小さい機器（例、C170）から他のどのアプライアンスに移行する場合、インターフェイスの数は手動で XML で調節される必要があります。C360/C660 からの C370/C670 への移行に関しては、インターフェイスの数は増加し、設定で手動で訂正する必要があります。
- `loadconfig` の時に、検疫サイズのアラートが、手動で編集しますローカル エディタ/アプリケーションの XML ファイルをあります。XML を検疫区域を捜し、検疫部品のサイズを調整する必要があります。

手動で XML を編集するように要求する出会うかもしれないエラー例:

- 「コンフィギュレーション ファイルはロードされませんでした。要素の解析エラー「ethernet_settings」91 22 値「データ 3」のライン番号 カラム: 設定されないイーサネットインターフェイス データ 3」。
- 「コンフィギュレーション ファイルはロードされませんでした。要素の解析エラーは値 "36507222016" のライン番号 カラムを「db_environment_actual_size」2133 35: DB を報告するための db_environment_actual_size は修正するべきではありません」。

関連情報

- [Cisco E メール セキュリティ アプライアンス エンドユーザ ガイド](#)
- [Cisco E メール セキュリティ アプライアンス リリース ノートおよび一般情報](#)
- [Cisco E メール セキュリティ データシート](#)
- [Cisco コンテンツ セキュリティ仮想アプライアンス インストール ガイド](#)
- [テクニカル サポートとドキュメント – Cisco Systems](#)